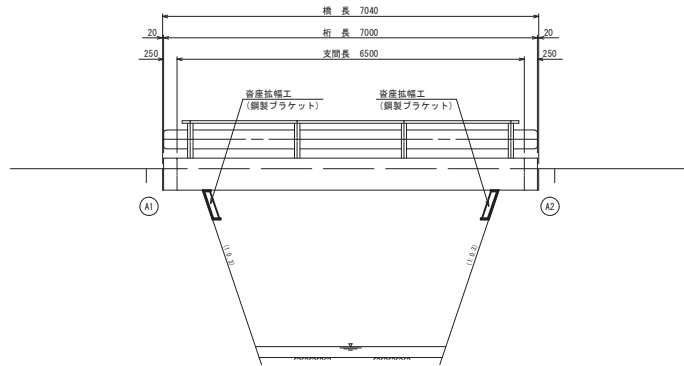


大楠橋 耐震補強一般図

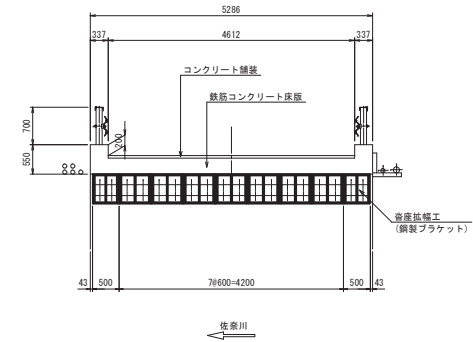
側面図

S=1/50



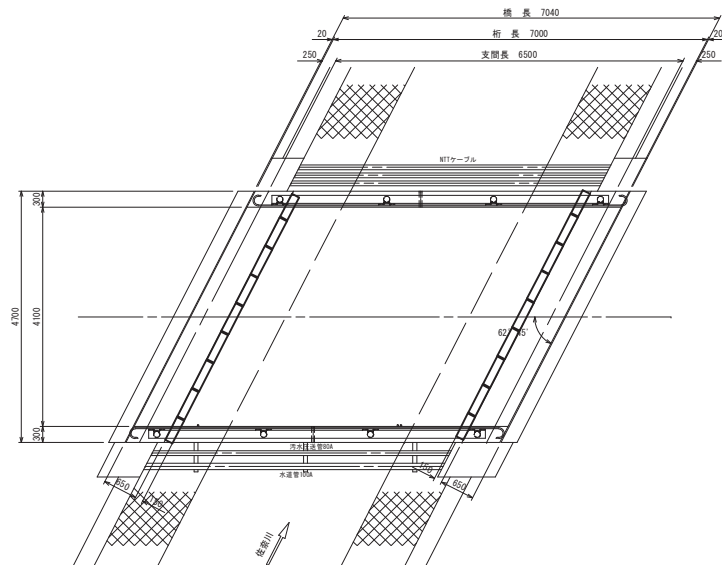
正面図

S=1/50



平面図

S=1/50



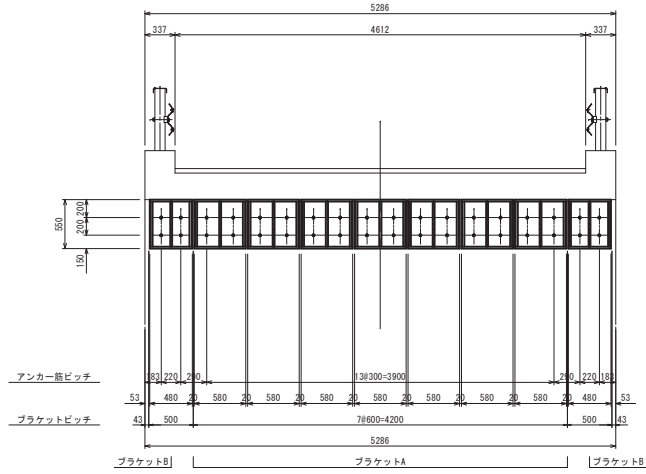
設計条件

橋	橋	-
橋	上部工形式	RC床版
	橋長	7.040m
	桁長	7.000m
	支間長	6.500m
	全幅員	4.700m
H	有効幅員	4.100m
	斜角	62° 45'
	舗装	コンクリート舗装
	支承	-
F	橋台	重力式(推定)
	基礎	-

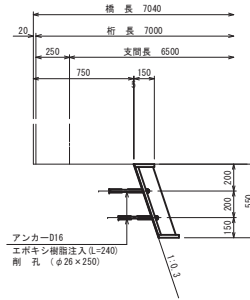
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 大楠橋 橋梁補修耐震補強工事		
図面名	耐震補強一般図		
年月日			
尺度	図示	図面番号	6 頁之内 1
会社名			
事務所名	多気町		

A1橋台沓座拡幅詳細図

正面図
S=1:30



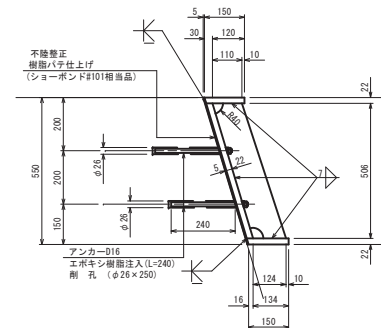
断面図
S=1:20



鋼製ブラケット詳細図
S=1:10

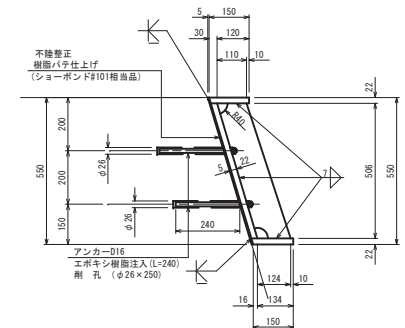
ブラケットA

側面図

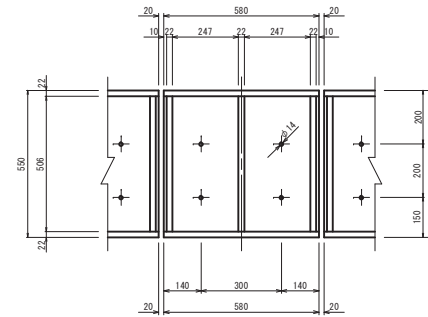


ブラケットB

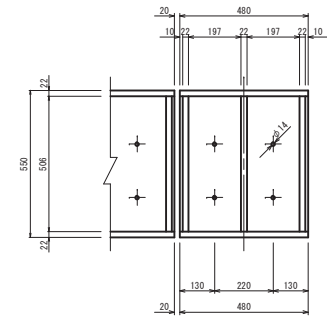
側面図



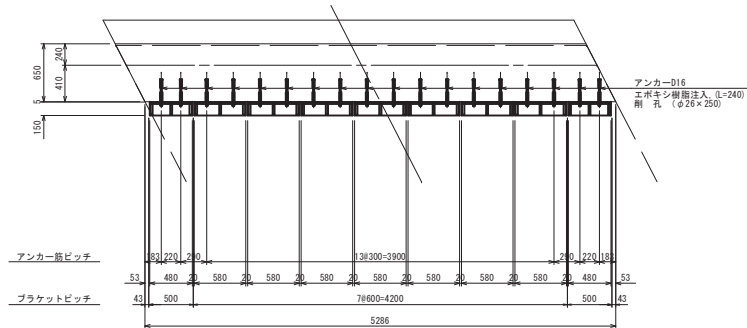
沓座拡幅詳細図
B=580



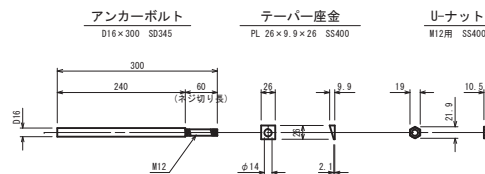
沓座拡幅詳細図
B=480



平面図
S=1:30



アンカーボルト詳細図
S=1:5

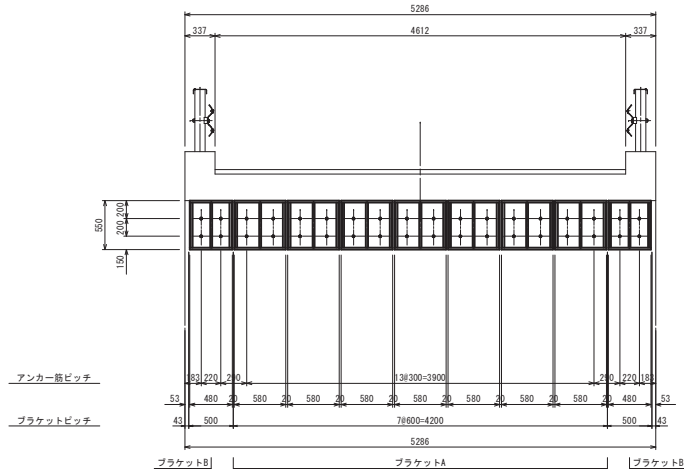


- 注) 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。付着量は、鋼材 JIS8841 HDZ35 アンカーボルト, Nut, Washer JIS8841 HDZ35
3. ブラケットの取付及びアンカー孔の位置については、現地再確認後、調整すること。
4. 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。
5. アンカー筋は、150以上の定着長を確保すること。
6. () 内は、参考値とする。

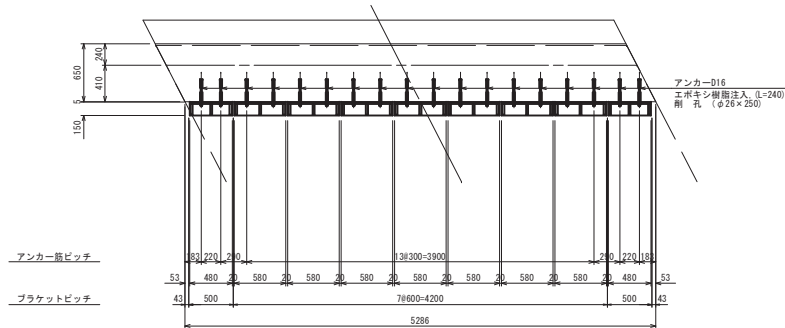
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 大橋橋 橋梁修繕耐震補強工事
図面名	A1橋台沓座拡幅詳細図
年月日	
尺度	図示 図面番号 6 頁之内 2
会社名	
事務所名	多気町

A2橋台沓座拡幅詳細図

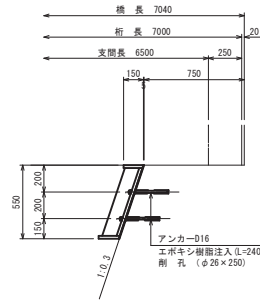
正面図
S=1:30



平面図
S=1:30

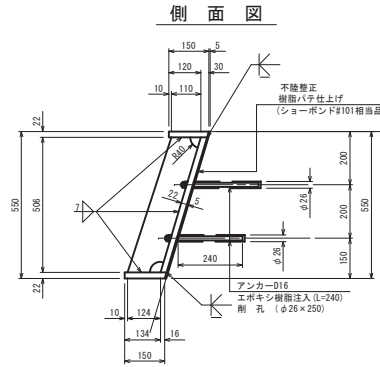


断面図
S=1:20

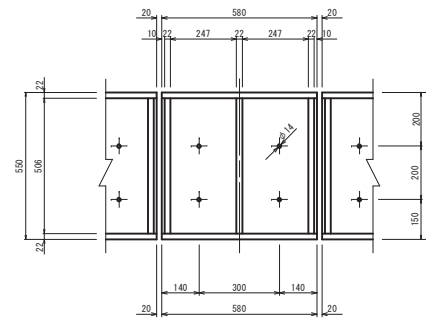


鋼製ブラケット詳細図
S=1:10

ブラケットA

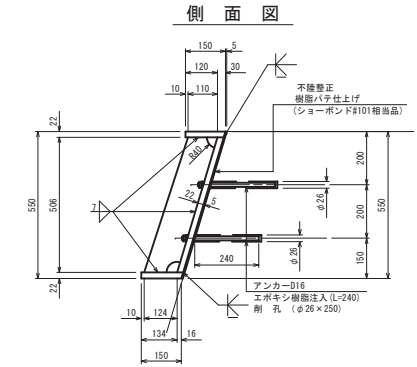


沓座拡幅詳細図
B=580

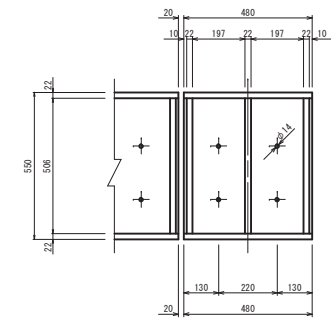


沓座拡幅 [1基当り] N=7基
 1-PL 150×22×580
 3-PL 275×22×506
 1-PL 157×22×480
 1-PL 580×22×535
 4-Anc Bolt D16×300 [SD345, NN付]

ブラケットB

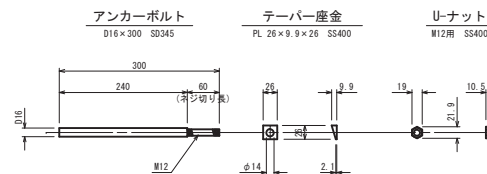


沓座拡幅詳細図
B=480



沓座拡幅 [1基当り] N=2基
 1-PL 150×22×480
 3-PL 275×22×506
 1-PL 157×22×480
 1-PL 480×22×535
 4-Anc Bolt D16×300 [SD345, NN付]

アンカーボルト詳細図
S=1:5

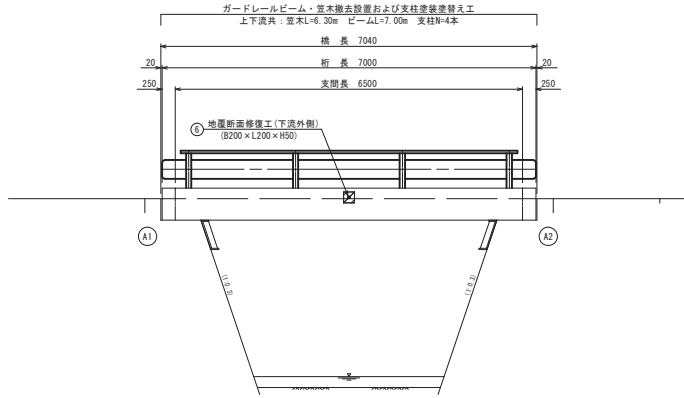


1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 鋼材は全て溶融亜鉛メッキを施すこと。ただし、アンカーボルトはネジ部のみとする。付着量は、鋼材 JIS8841 HDZ35 アンカーボルト, Nut, Washer JIS8841 HDZ35
3. ブラケットの取付及びアンカーの位置については、現地再確認後、調整すること。
4. 施工にあたっては事前に鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないようにすること。
5. アンカー筋は、150以上の発着長を確保すること。
6. () 内は、参考値とする。

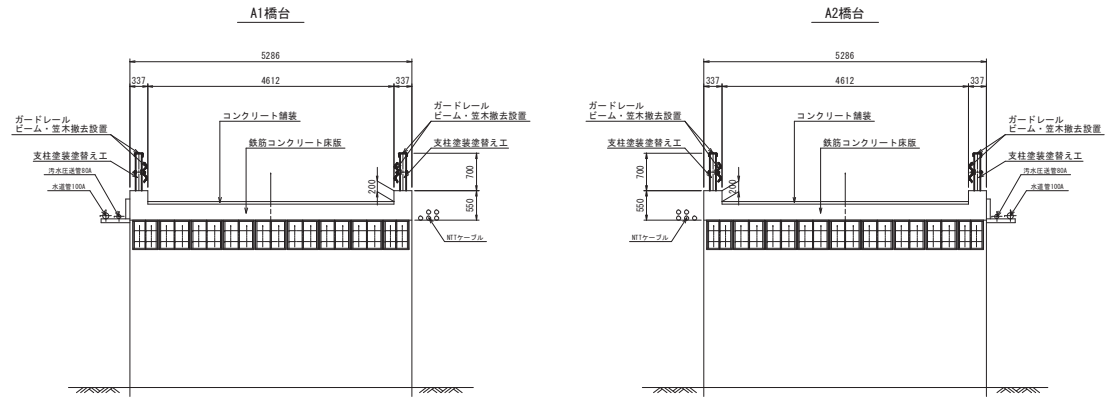
工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 大橋橋 橋梁修繕耐震補強工事
図面名	A2橋台沓座拡幅詳細図
年月日	
尺度	図示 図面番号 6 頁之内 3
会社名	
事務所名	多気町

大楠橋 修繕工一般図

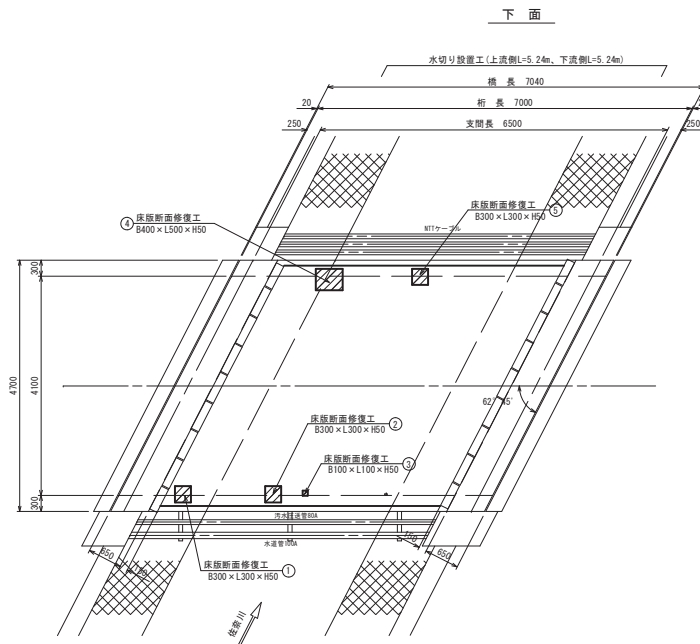
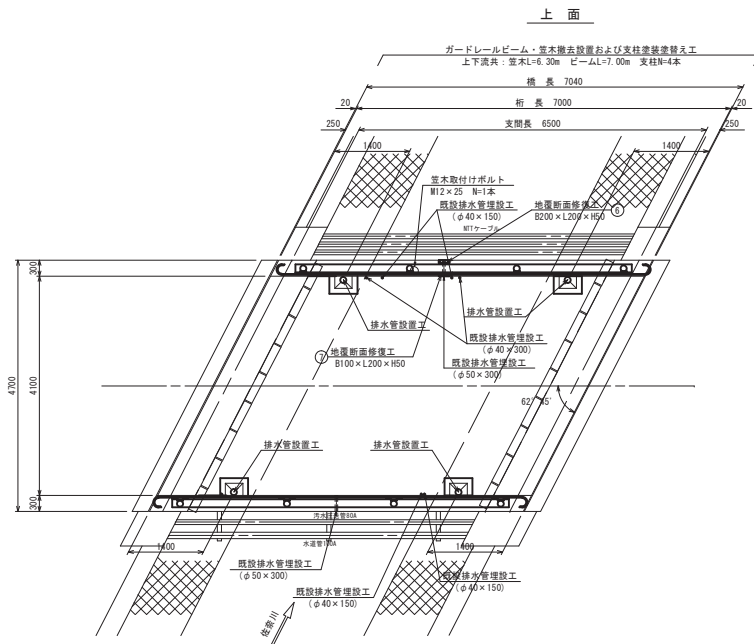
側面図
S=1:50



正面図
S=1:50



平面図
S=1:50



設計条件

橋	橋	-
上部工形式	RC床版	
橋長	7.040m	
桁長	7.000m	
支間長	6.500m	
全幅員	4.700m	
有効幅員	4.100m	
斜角	62° 45'	
補装	コンクリート補装	
支承	-	
橋台	重力式 (推定)	
橋基礎	-	

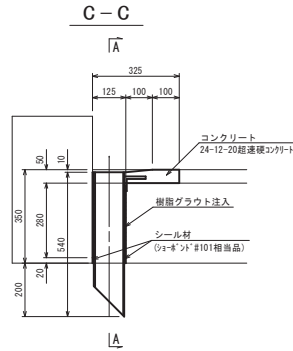
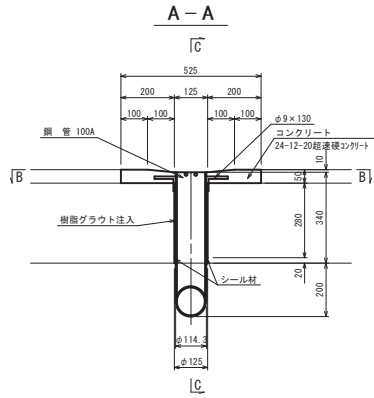
工事名	平成20年度 社会資本整備総合交付金事業 大楠橋 橋梁補修耐震補強工事
図面名	修繕工一般図
年月日	
尺度	図示 図面番号 6 裏之内 4
会社名	
事務所名	多気町

※排水管理工は無収縮モルタルにて充填すること。

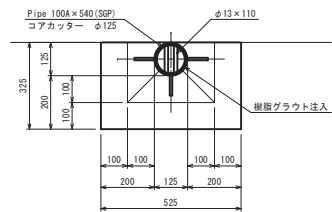
修繕工詳細図

排水管設置工

S=1:10



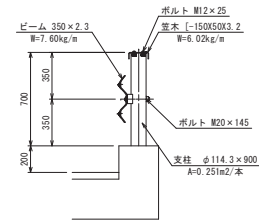
B-B



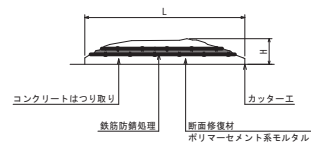
- 1箇所当たり
- ※ 1-Pipe 100A x 540 (SGP)
 - ※ 2-RB φ13 x 110 (SR235)
 - ※ 3-RB φ9 x 130 (SR235)
- ※は溶融亜鉛メッキを施すこと。
JIS H8641 HD245

ガードレール詳細図

S=1:20



断面修復工詳細図



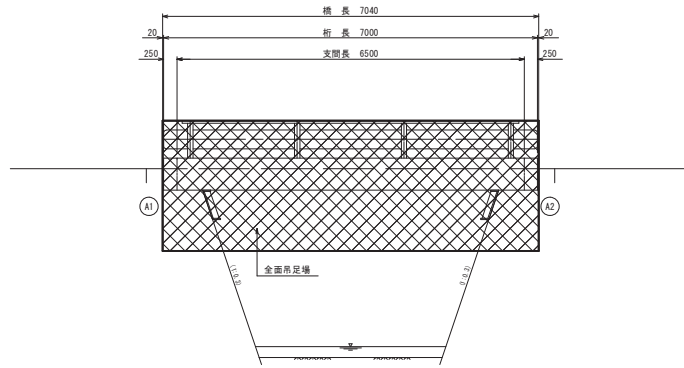
- ※ 断面修復については修復箇所周囲にコンクリートカッターを使用すること。
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面修復部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議すること。
- ※ 鉄筋防錆処理について
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。

工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 大橋橋 橋梁修繕耐震補強工事			
図面名	修繕工詳細図			
年月日				
尺度	図示	図面番号	6	頁之内 5
会社名				
事務所名	多気町			

仮設足場工 参考図

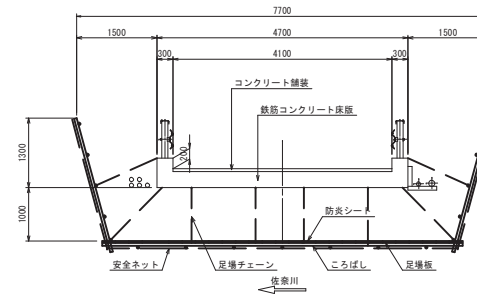
側面図

S=1:50



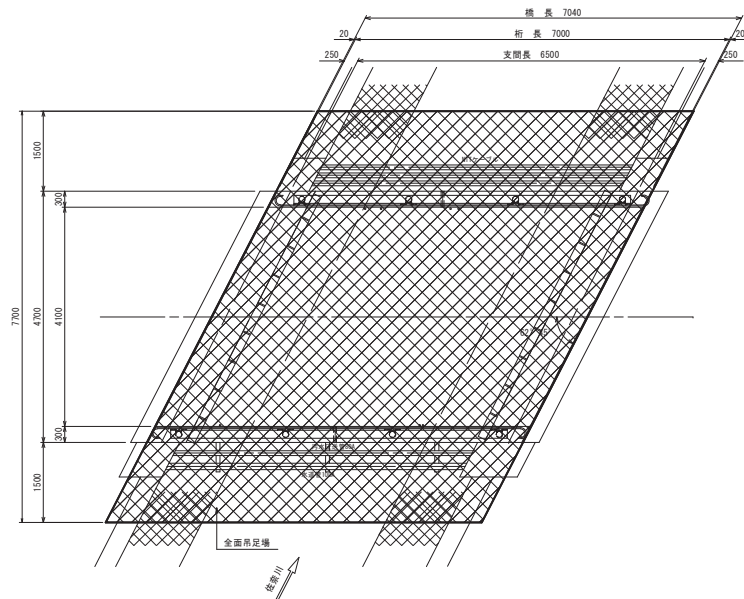
断面図

S=1:50



平面図

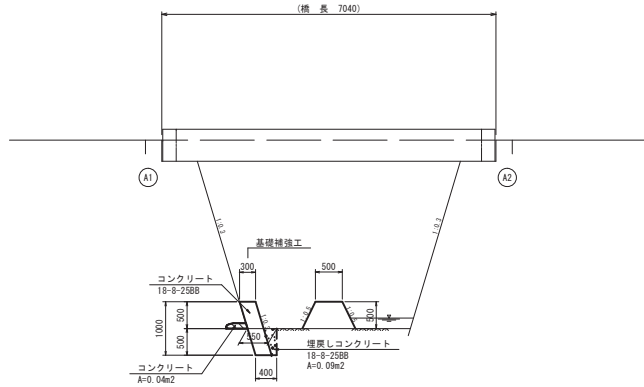
S=1:50



工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 大規模 橋梁修繕耐震補強工事				
図面名	仮設足場工 参考図				
年月日					
尺度	図示	図面番号	6	頁之内 6	
会社名					
事務所名	多気町				

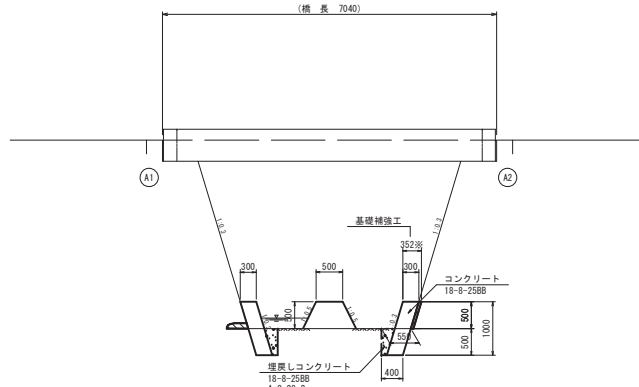
大楠橋 修繕工詳細図

横断図
1期施工 S=1:50



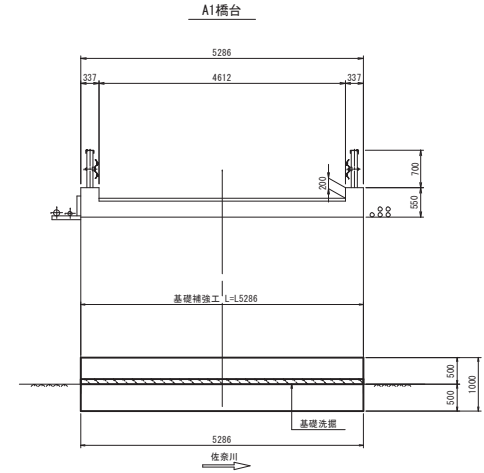
注) 1. 基礎は岩盤より50cm埋入すること。
 施工上の都合により50cm埋入が確保できない場合には監督員と協議すること。
 2. ハッチング部については出来る限り、ゴミ等の異物を取りのぞくこと。

横断図
2期施工 S=1:50

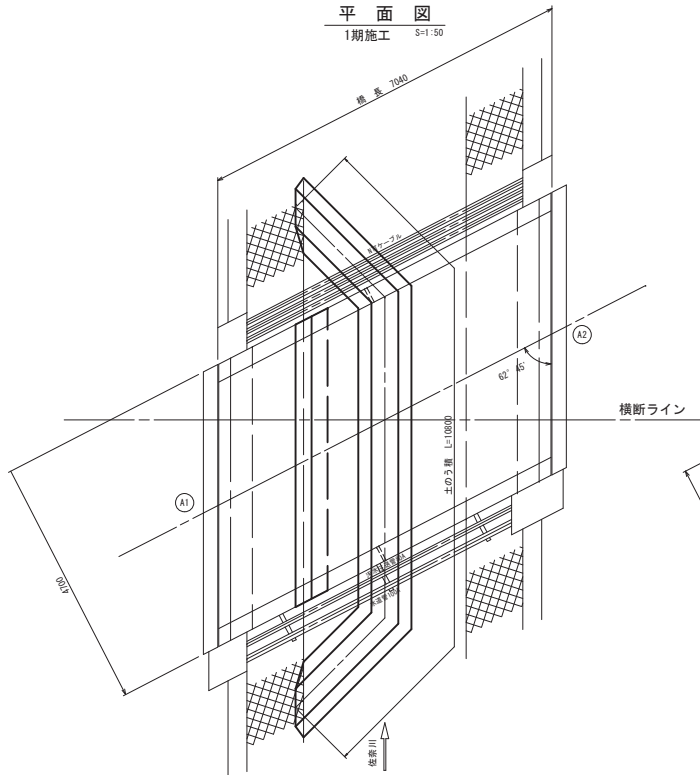


注) 1. 基礎は岩盤より50cm埋入すること。
 施工上の都合により50cm埋入が確保できない場合には監督員と協議すること。
 2. ※印寸法は下流側4.3m区間を示す。

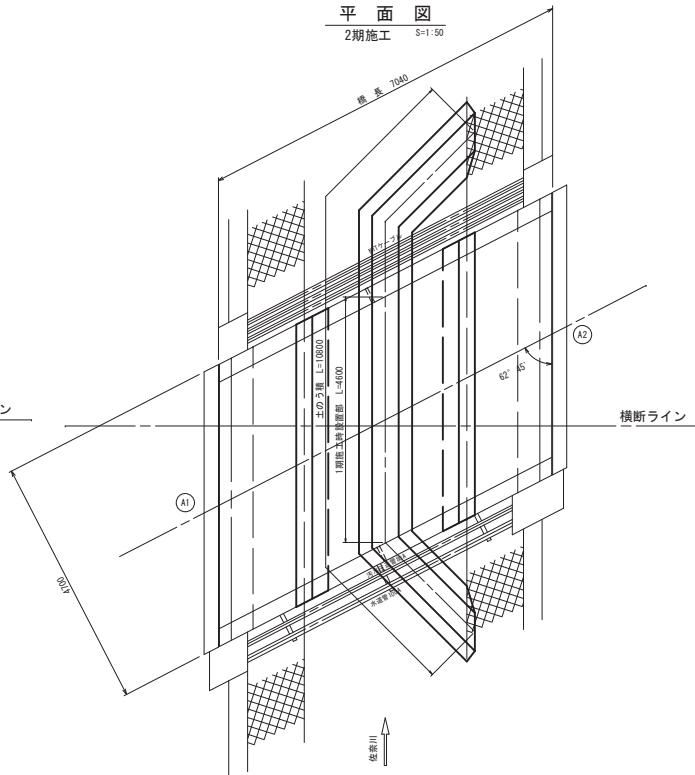
正面図
S=1:50



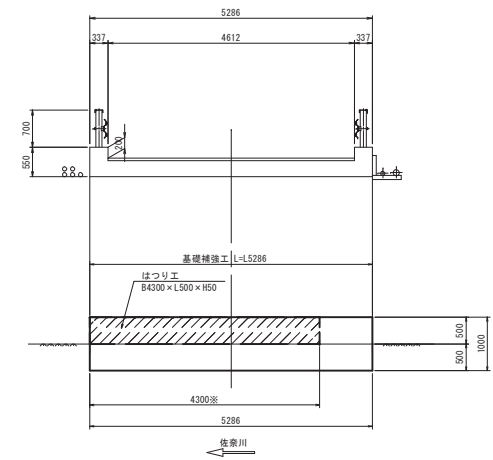
平面図
1期施工 S=1:50



平面図
2期施工 S=1:50



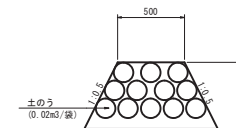
A2橋台



注) 下流側4.3m区間の総節部はコンクリート打設前にはつりとすること。
 はつり部は事前にカッター(10m)を使用すること。

土のう積詳細図

S=1:20



町単独事業

工事名	平成30年度 社会資本整備総合交付金事業 大楠橋 橋梁修繕耐震補強工事
図面名	修繕工詳細図
年月日	
尺度	図示 図面番号 1 頁之内 1
会社名	
事務所名	多気町